

【花期 7~10月】



ケイトウ

2017.10.17千曲



2015.6.16上田



2015.8.15上田

ケイトウ 鶏頭 〈ヒユ科ケイトウ属〉

熱帯アジア原産の1年草。古くに渡来。観賞用に栽培され、園芸品種も多い。茎は直立、高さ90cm位、無毛、硬い。葉は互生、長柄、長さ5~10cm、花茎の上部は帯化し、著しく広がる、その両側に小花を密生。花の色は赤、紅、黄、白など。【5】【18】【25】【58】

- 名は、花が雄鶏のとさか(鶏冠)に似るから。【18】 ■漢名も鶏冠。【18】
- 花の色や形など変異に満ちているが、大きく4鶏頭に分類され、花冠が鶏のとさかのように帯化した**鶏冠ゲイトウ系**、その帯化がさらに進んで球形となった**久留米系**、柔らかい羽毛状の**房ゲイトウ系**、それよりも花が密集した**槍ゲイトウ系**などがある。【58】



花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ケイトウ				●●●	●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●		

【花期 8～10月】



ケイヌビエ

2014.8.28長野



芒

2014.8.28長野

ケイヌビエ 毛犬稗 (イネ科ヒエ属)

イヌビエの変種。水田など湿ったところに生える一年草。基部で分枝。高さ80～100cm。葉は線形、長さ30～50cm、幅1～2cm、ざらつく、葉舌はまったくない。花序は長さ10～25cm、分枝して小穂を密につける。小穂は卵形、長さ3～5mm、濃緑色～紫褐色の長い芒がある。【58】【72】

■イヌビエは変種性に富む植物で、多くの変種が記録されている。【32】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ケイヌビエ						●						

【花期 5~6月】 落葉低木



ケナシヤブデマリ 装飾花は蝶形【1】

2005.6.14戸隠



芽吹き

2000.5.07鬼無里



葉柄 少なからず星状毛が見られた



実 果実は初め赤く、後に黒く熟す【58】

1999.8.21鬼無里

ケナシヤブデマリ 毛無薺手毬 〈スイカズラ科ガマズミ属〉

ヤブデマリの変種で、日本海側に分布。溪流沿いや湿った林内に生える。高さ3mほどになる。枝は水平に広がる。葉は対生、円形または広卵形、長さ15cmくらい。花序の径は10cm。若枝、葉柄、葉の裏面、花序にほとんど毛がない。【2】【4】【58】

■名のケナシは毛無しで、毛が少ないことを示す。【2】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ケナシヤブデマリ				((((((

【花期 7~9月】 落葉低木



ケヤマウコギ 頂生の花序の両性花が開花中、雄花はまだ蕾 2001.8.25菅平



雄花 雄しべ5個【4】 2001.8.25菅平



葉 ふちに重鋸歯【4】 2001.8.25菅平



果実 径約8mm【4】 2001.10.5戸隠



刺は平たく太く、先が少し下に湾曲【9】

ケヤマウコギ 毛山五加木 別名オニウコギ・オウコギ(ウコギ科ウコギ属)

湿潤な山地に生え、高さ3m位。若枝・葉裏・花序は有毛。葉は互生、基部に幅広い刺が2~3個、長柄、掌状複葉、小葉5個、倒卵状長楕円形。長さ4~12cm、ふちに重鋸歯。本年枝の先に散形花序を出し、5弁の小さな花を球状につける、頂生の花序は両性花で結実、側生の花序は雄花。果実は核果、黒熟。【2】【4】【5】【8】【37】

■名は、形態がヤマウコギに似ているが、毛が多いから。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ケヤマウコギ							○					

【花期 4~7月】



アケボノフウロ

2015.5.19茶臼山植物園

アケボノフウロ 曙風露 〈フウロソウ科フウロソウ属〉

ヨーロッパ～アジアの西部に分布。高山に生える多年草。茎は軟毛が密生。高さ20～50cm。葉は掌状5～7深裂、裂片は先の方で3裂、濃い緑色、秋には黄色や橙色、褐色に紅葉する。花は径2～3cm、花弁5個、濃いピンク色、園芸品種には白色や淡いピンク色もある。[58][84]

■学名はGeranium sanguineum (ゲラニウム・サンギネウム)。[84]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
アケボノフウロ		●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●				

【花期 晩春～初夏】



2015.8.10長野



ジョンソンスブルー

2015.8.10長野

ゲラニウム・ジョンソンスブルー —— 〈フウロソウ科フウロソウ属〉

えんげいしゅ たねんそう たか ぜんご はな けい
園芸種。多年草。高さ60cm前後。花は径3cm。【66】

- 学名Geranium Jonson's Blue。【66】
- ヒマラエンセとプラテンセの交配種。【66】
- 有名なブルーの美花。とても鮮明なブルーが透き通っているように見える。【66】
- フウロソウの中では早咲きで、5月から咲く。大株になると次々に開花し、長期間楽しめる。【66】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ジョンソンスブルー						●						

【花期 5~7月】



ゲラニウム・ダルマチカム

2016.5.25木祖

ゲラニウム・ダルマチカム —— 〈フウロソウ科〉

ヨーロッパ原産の耐寒性多年草。高さ20cm。花弁は淡いピンク色。長くのびた葯が特徴。【127】

■学名Geranium dalmaticum。【127】

■ゲラニウムの原種の1種。【127】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ゲラニウム・ダルマチカム			●									

【花期 春～秋】



ゲラニウム・ビルウォーリス

2015.10.19須坂

ゲラニウム・ビルウォーリス — 〈フウロソウ科〉

ヨーロッパ原産の耐寒性多年草。高さ50cm前後。花は紅紫色、
 花弁5個、先端は2つに裂ける。【86】【ウィキペディア】

- 学名Geranium pyrenaicum(ゲラニウム ビレネカム〈ビレナイカム〉)。【86】
- 別名ビレネーフウロなど。【86】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ゲラニウム・ビルウォーリス			●					●				

【花期 一月】



ゲラニウム・ピレネカム・アルバム

2015.7.2茶臼山植物園

ゲラニウム・ピレネカム・アルバム —— 〈フウロソウ科フウロソウ属〉

●この花を記載する師範(せんせい)が見つからなかったので、インターネットで調べた。フウロソウ属で「花弁の先が明らかに凹んだ花」を呼び出すとこの名が出た。違っていたら、ごめん。

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ゲラニウム・ピレネカム・アルバム					●							

【花期 6～10月】



花 花は花茎の頂部に固まって咲かせる【83】

2016.9.11中津川



ケロネ 葉

2016.9.11中津川

ケロネ —— 別名ジャコウソウモドキ・リオン(ゴマノハグサ科ジャコウソウモドキ属)

北アメリカ原産の多年草。茎は四角、直立して分枝。高さ50～100cm。葉は対生、有柄、葉身卵形、長さ8cm位、濃い緑色、光沢がある、先は尖る、ふちに鋭い鋸歯。茎頂に総状花序を出す。花は不思議な見た目、長さ2～3cm、肉厚、淡い藤紫色または白色。【18】【58】【77】【83】

■名は、花の形が亀に似ているので、亀を意味するギリシア語Chelone(ケロネ)から。別名のリオンは種小名lyoniからきており、花屋さんでの通称名。【77】

■学名Chelone lyonii。【77】

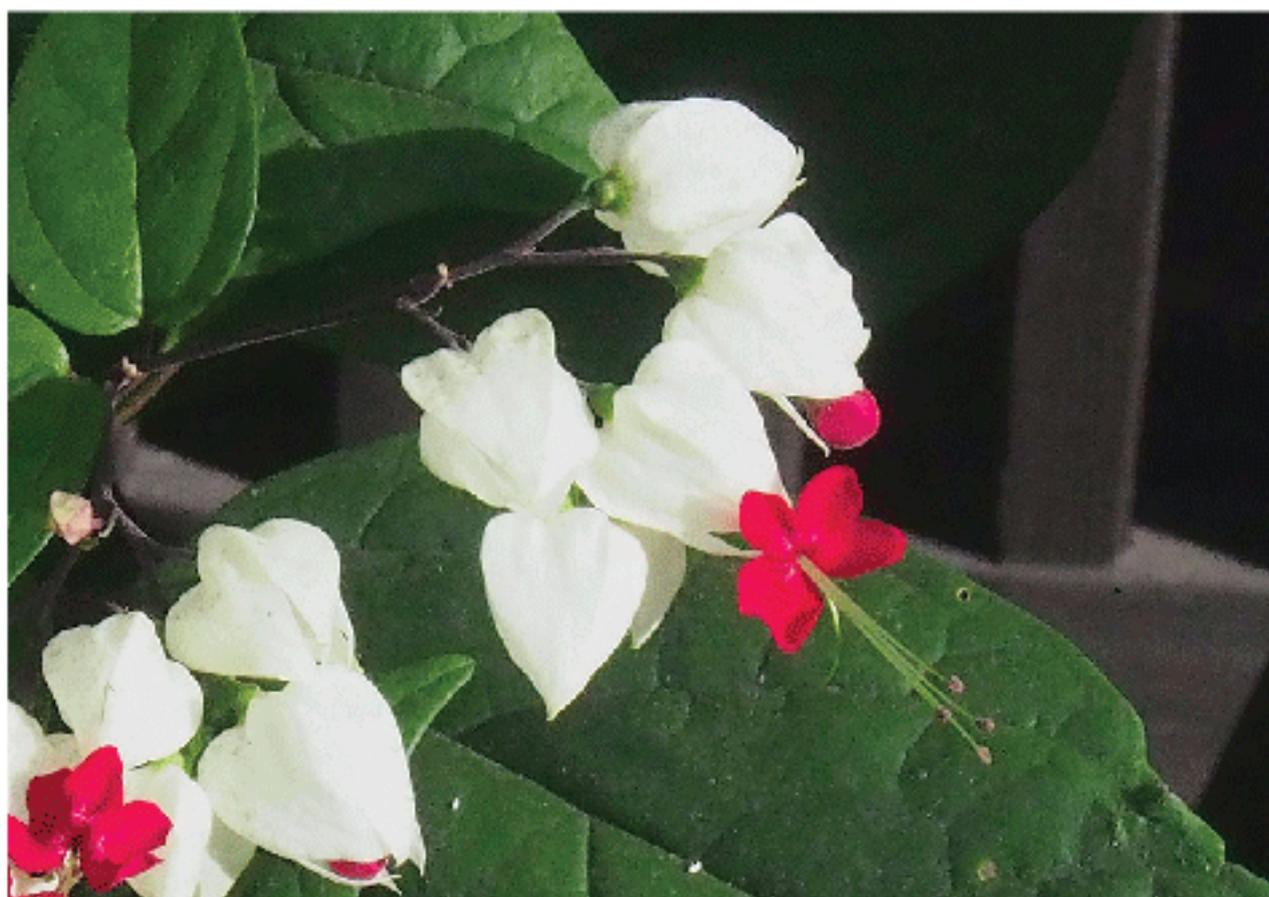
花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ケロネ							●					

【花期 5~9月】 常緑低木



葉 主脈は表面で凹む【18】

2016.10.23奈良井宿



ベンベिकासズラ

2016.9.25奈良井宿

ゲンベिकासズラ 源平葛 〈クマツツラ科クサギ属〉

にし げんさん つる ま なが ほど
 西アフリカ原産。蔓が巻きながらのびる。長さは4m程になる。
 は たいせい だえんじょう らんけい なが ぜんえん えださき ようえき
 葉は対生、楕円状卵形、長さ10~15cm、全縁。枝先や葉腋から
 しゅうさんかじょ だ がく はくしよく かねじょう ごかくけい しんれつ はな けい
 集散花序を出す。萼は白色、鐘状五角形、5深裂、花は径15mm、
 せんこうしよく つつじょう せんたん れつ へいかい お こ
 鮮紅色、筒状、先端5裂、平開、雄しべ4個。【18】【58】【84】【114】

- 名は、萼の純白と花の鮮紅色を、源平の旗色に例えて。【84】
- 別名ゲンベイクサギ(源平臭木)、ゲンベイボク(源平木)。【58】
- 花からは初め黄緑色の雄しべ4個が突き出し、数日するとこれがぐるりと巻き、雌しべ1個が長く突き出る。【84】
- 萼は花後も長く残り、中に球形の果実ができ、紫緑色に熟す。【84】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ゲンベिकासズラ								🌸	🌸			

【花期 5～11月】



ゲンペイコギク 茎は匍匐して50cmほどの長さになる【58】 2015.10.7小諸

ゲンペイコギク 源平小菊 <キク科ムカシヨモギ属>

メキシコ、中央アメリカ、ベネズエラ、チリ原産の多年草。株元から分枝、細い茎が地面を匍匐する。高さ15～25cm。下部の葉は倒披針形、3裂、上部の葉は互生、線形～披針形、長さ2～3cm。茎頂に小さな花を咲かせる。中央の管状花は黄色、周囲の舌状花は咲き始めは白色、次第に淡い紅紫色に変わる。【58】【84】【84】

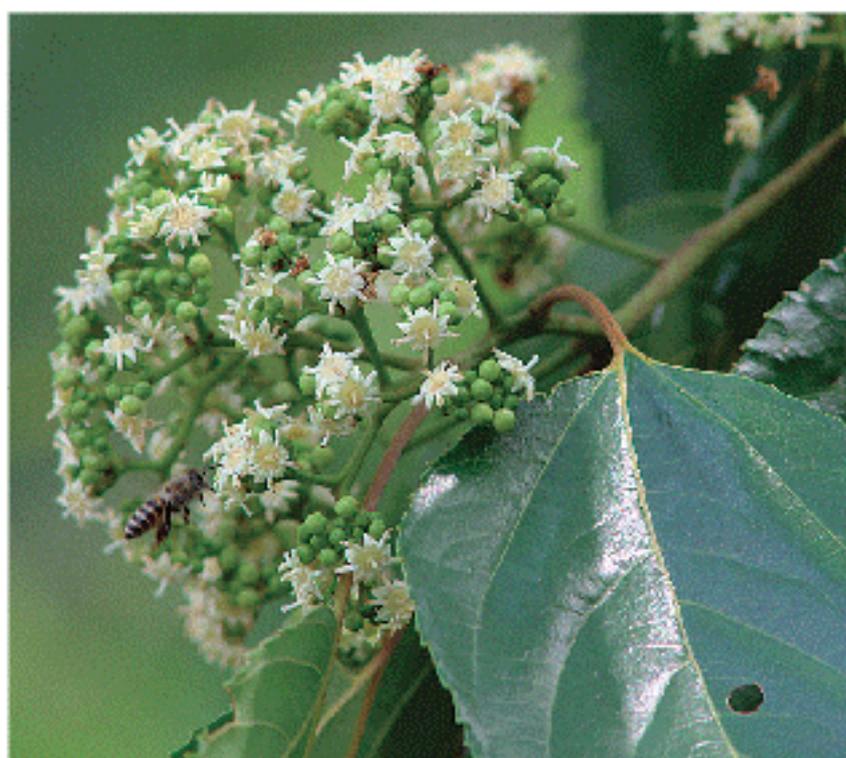
■名は、赤白の花が入り乱れて咲くことから。【84】

■ヨメナのような花を咲かせ、葉が薄いことから、別名ベラベラヨメナ。【84】

■学名 *Erigeron karvinskianis* (エリゲロン・カルピンスキアヌス)。【84】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ゲンペイコギク												

【花期 6~7月】 落葉高木



ケンポナシ 花弁は筒状に雄しべを包み込む【37】

2003.7.6木島平



樹冠

2003.7.20須坂



若い果実

2003.7.20須坂



樹皮

2003.7.6木島平



果柄と果実と葉

2002.11.6飯山

ケンポナシ 玄圃梨 (クロウメモドキ科ケンポナシ属)

山地の溪流沿いの斜面に生え、庭木にされる。高さ15~20m。樹皮は縦に裂け、鱗片状に剥がれる。葉は互生、広卵形、長さ7~20cm、ふちに鋸歯、やや内巻きに波打つ。集散花序に淡黄緑色の花多数、萼片5個、花弁5個、雄しべ5個。果実は核果、球形、径7mm、黒紫色に熟す。果柄は肉質、食べられる。【4】【18】【37】【48】

■名は、手棒梨の転訛だろうと言う。【18】 ■かつては食べられる果実をナシと呼んでいたようだ。イワナシもサルナシも本種もその名がつく。【25】

■可食部は、花序の軸が肥大したもの。少し洋梨に似た香りがする。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ケンポナシ					●●							

